

2023.12.21

EVを用いた新たな通勤支援制度と職場充電サービスについて

 **Hakobune**





1. 会社名	株式会社Hakobune
2. 設立	2023年4月3日
3. 所在地	東京都千代田区神田錦町2-4 ダヴィンチ小川町
4. 株主	住友商事株式会社 100%
5. 資本金	490百万円
6. 代表取締役	高橋 雅典
5. 事業内容	・通勤用電気自動車（EV）のレンタル及びリース ・EV充電設備のEPCおよびリース ・最適な職場充電環境のコンサルティング ・太陽光発電設備のEPC*およびPPA* ・EV職場充電専用の電力サービス

*EPC:Engineering Procurement Construction 設計・調達・建設の一括請負

*PPA: Power Purchase Agreement（電力販売契約）太陽光発電システム設備を初期費用ゼロで導入し、利用料に応じて課金されるモデル。設備所有権は事業者側となる。



住友商事概要

Strictly Confidential

金属 事業部門

- 鋼材本部
- 鋼管本部



スチールサービスセンター
(メキシコ)



油井管が並ぶヤード
(ノルウェー)



アルミ精錬事業
(マレーシア)

輸送機・建機 事業部門

- Beyond Mobility事業部
- リース・船舶・航空宇宙事業本部
- モビリティ事業第一本部
- モビリティ事業第二本部**
- 建設機械事業本部



航空機リース事業で活躍予定の
最新鋭機種



EVスクーターと
バッテリーステーション (台湾)



鉱山開発に用いる超大型油圧
ショベルとトラック

インフラ 事業部門

- 社会インフラ事業本部
- 電力インフラ事業本部
- 物流インフラ事業本部



下水処理場
(ブラジル)



洋上風力発電事業
(ベルギー)



物流センター
(日本)

メディア・デジタル 事業部門

- メディア事業本部
- デジタル事業本部
- スマートプラットフォーム事業本部



ジュピターテレコム (J:COM)
本社



先端技術への
ベンチャー投資



携帯通信事業
(ミャンマー)

生活・不動産 事業部門

- ライフスタイル・リテール事業本部
- 食料事業本部
- 生活資材・不動産本部



スーパーマーケット
「サミツ」



世界有数の
青果物生産・卸売企業である
ファイフスの取扱商品



銀座エリア最大級の
複合施設「GINZA SIX」

資源・化学品 事業部門

- 資源第一本部
- 資源第二本部
- エネルギー本部
- 基礎化学品・エレクトロニクス本部
- ライフサイエンス本部



サンクリストバル銀・亜鉛・鉛
鉱山 (ボリビア)



コープポイントLNG基地
(米国)



ペット用医薬品
(米国)

エネルギーイノベシ ョン・イニシアチブ

- 企画・戦略部
- 水素事業第一部・第二部
- ゼロミッション・ソリューション事業部
- 木材資源事業部
- バイオマスエネルギー開発部
- Power Frontier 事業部
- インドネシアEX部
- 地下エネルギーチーム他



森林事業 (ニュージーランド)



大型蓄電事業イメージ図 (日本)



グリーン電力プラットフォーム事業
(シンガポール)



モビリティ事業のご紹介

Strictly Confidential

企画・開発

製造

トレード

販売・サービス

金融・リース

次世代モビリティ
事業

アドバイザリーサービス



自動車設計・開発・ 試験・評価領域事業	自動車・自動車部品 製造関連事業	완성車メーカー 生産支援事業への 出資及び部品トレード	完成車トレード (輸出・三国間貿易)	自動車 ディストリビューター・ ディーラー事業	アセットマネジメント ビジネス (中古車、リース等)	タイヤ販売事業 (卸売・小売) メンテナンス事業	二輪・四輪販売 迄配事業	オートリース事業・ サービス事業 (保険・車両管理等)	駐車場事業を コアとした モビリティハブ事業	EV関連事業
SC Automotive Engineering	KIRIU 	Summit D&V 		 	MOTO-PFOHE 	TBC CORPORATION MIDAS NTW	OTO by PC-OTO MULTIMEDIA 	住友三井オートサービス KINTO MOBILOTS	aimo park Rethink Parking.	aimo share DriveElectric 

自動車最先端技術化型コンサルティング事業



百花繚乱



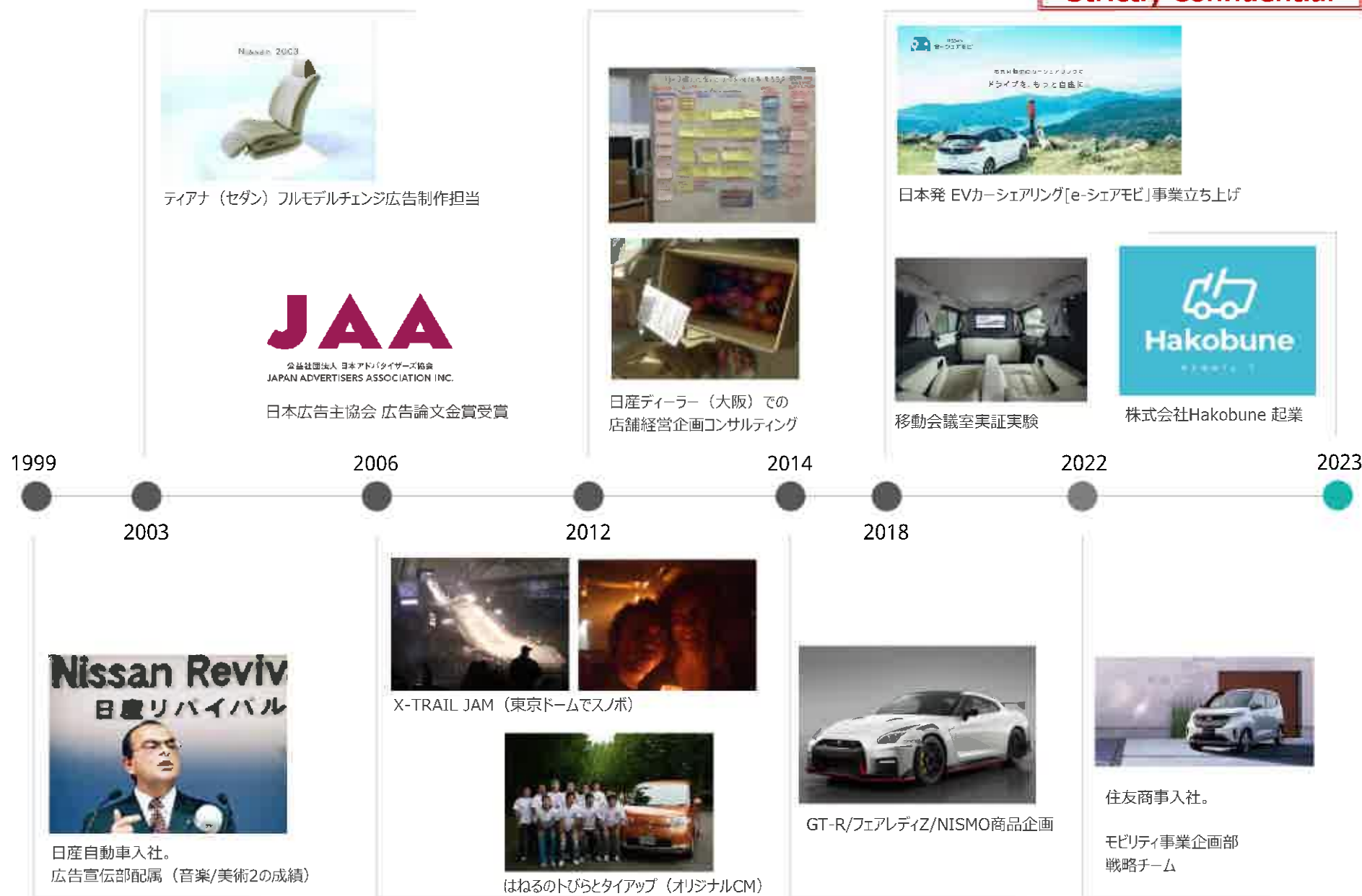
名前： 高橋 雅典
出身： 横浜市
家族： 妻 + 小1男子
趣味： ゴルフ、外食、旅行、キャンプ
資格： 一級船舶（宅建、FP、WA予定）

《 前職 》

日産自動車（銀座→横浜）
広告宣伝、DLR事業 SV
商品企画、経営企画/事業管理
MaaS新事業開発/運営
（連結レンタカー会社出向兼務）

《 住友商事 》

2022.5.1 入社
モビリティ事業企画部 戦略チーム





EVが街じゅうに電気を運び、どの街で暮らしても便利で快適な生活づくり “ People Mover × Electric Mover ”

移動中も停車中も休まないEVの使い方創造



Hakobune BEV フリート	調整力の供給	グリッドに調整力を供給		非常用電源	
	安価な電力の供給	蓄電池へ充電		自宅運搬	自宅に給電
	人の運搬	通勤	通勤		
		8 am	12 pm	5 pm	
ガソリン マイカー	人の運搬	通勤	通勤		

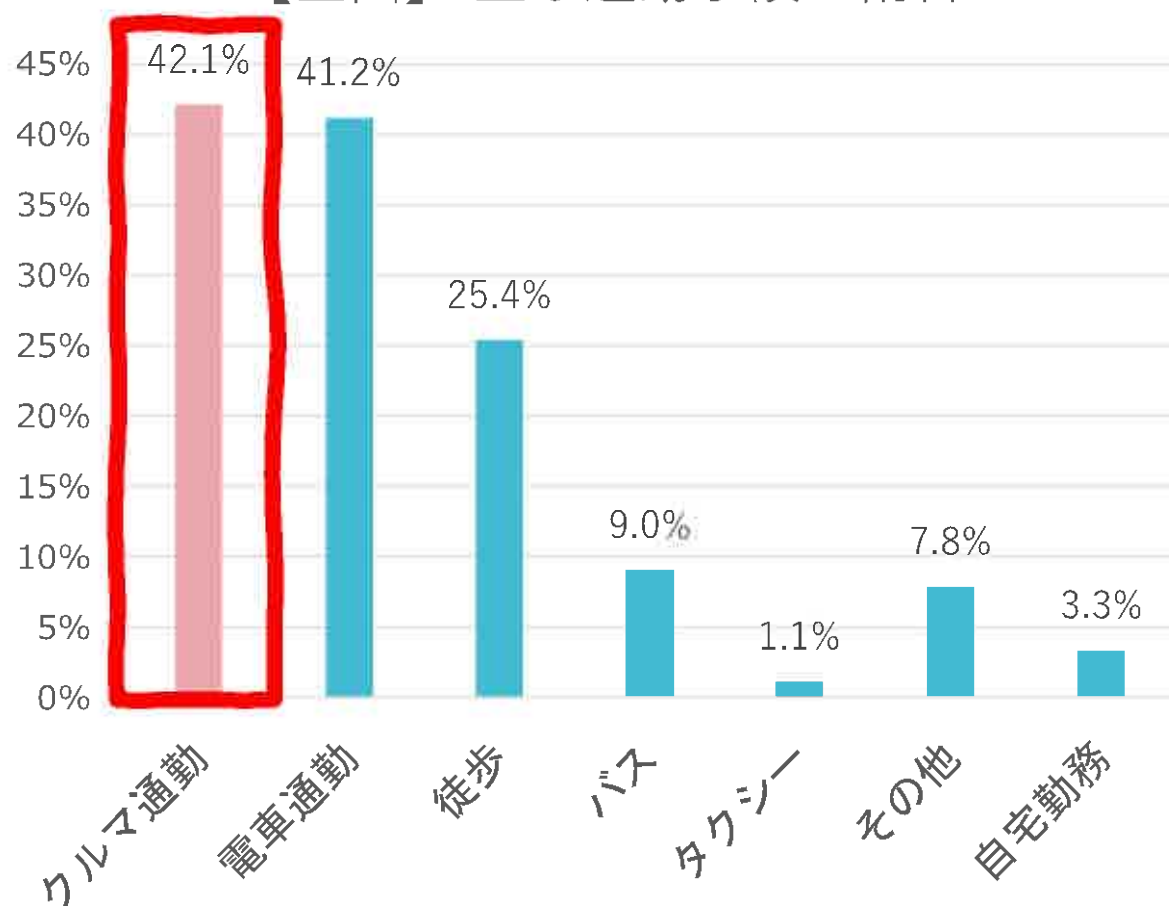


データで見る、日本における通勤事情（弊社調べ）

- ・クルマ通勤の割合は、全国では4割
- ・首都圏でも1割-3割。東名阪以外だと7割

首都圏以外では
クルマ通勤が主

【全国】 主な通勤手段の割合



【都道府県別】クルマ通勤の割合



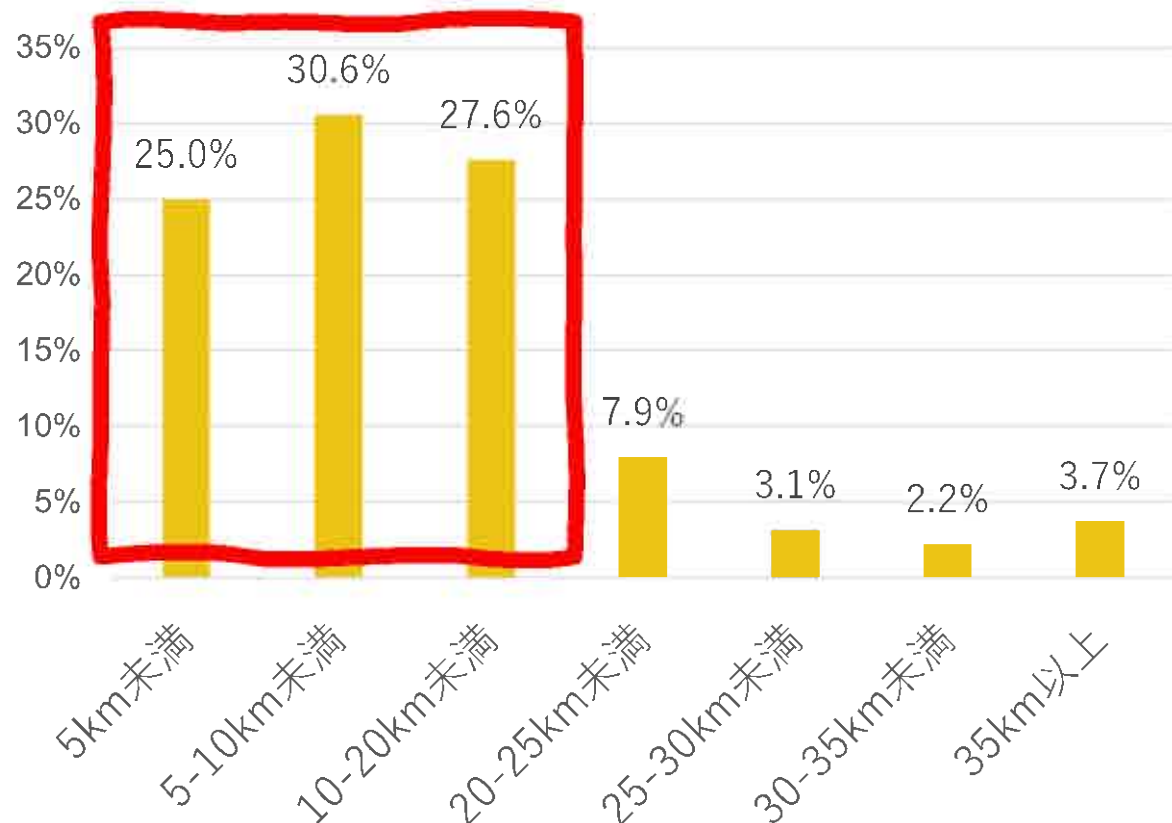


データで見る、日本における通勤事情（弊社調べ）

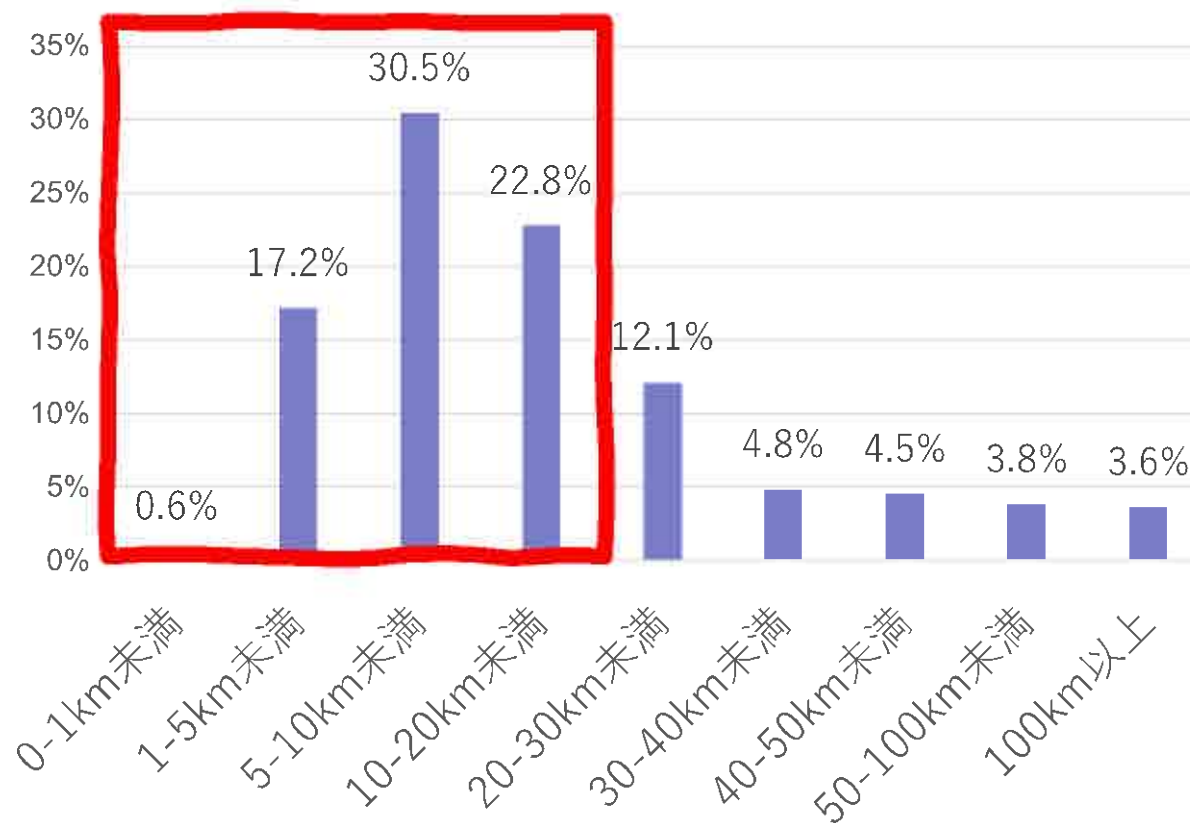
- ・ 平日の通勤距離は、8割は片道20km未満（割合合計83.2%）
- ・ 休日における運転距離は、7割が一日走行距離が20km未満（割合合計71.1%）

長距離移動は少数派

片道の通勤距離



休日における1日当たりの運転距離





データで見る、日本における通勤事情（弊社調べ）

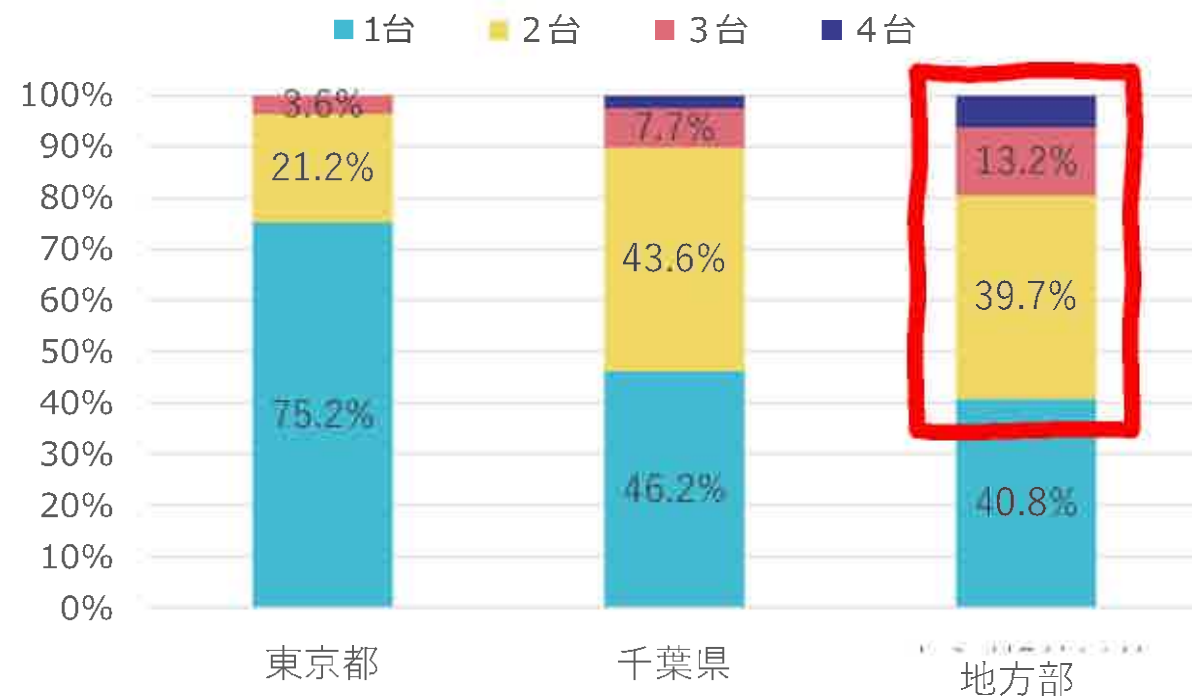
- ・ 52.6%は軽・コンパクトを通勤用に利用
- ・ 家庭においては、地方部で6割以上の世帯が複数台数所有

通勤用に軽・コンパクト
(休日は別車両の利用)

通勤用に使用しているクルマのタイプ



家庭における保有台数





通勤用EV支給制度×職場充電で サステナブルな社会へ

クルマ通勤の新しい制度導入を通じて

従業員さまのマイカー保有・維持コストの削減ならびに

企業さまの脱炭素化経営の促進・雇用強化を実現します

これまで

通勤用にクルマを購入し、給油はガソリンスタンドで
通勤キヨリに応じて通勤手当を支給



これから

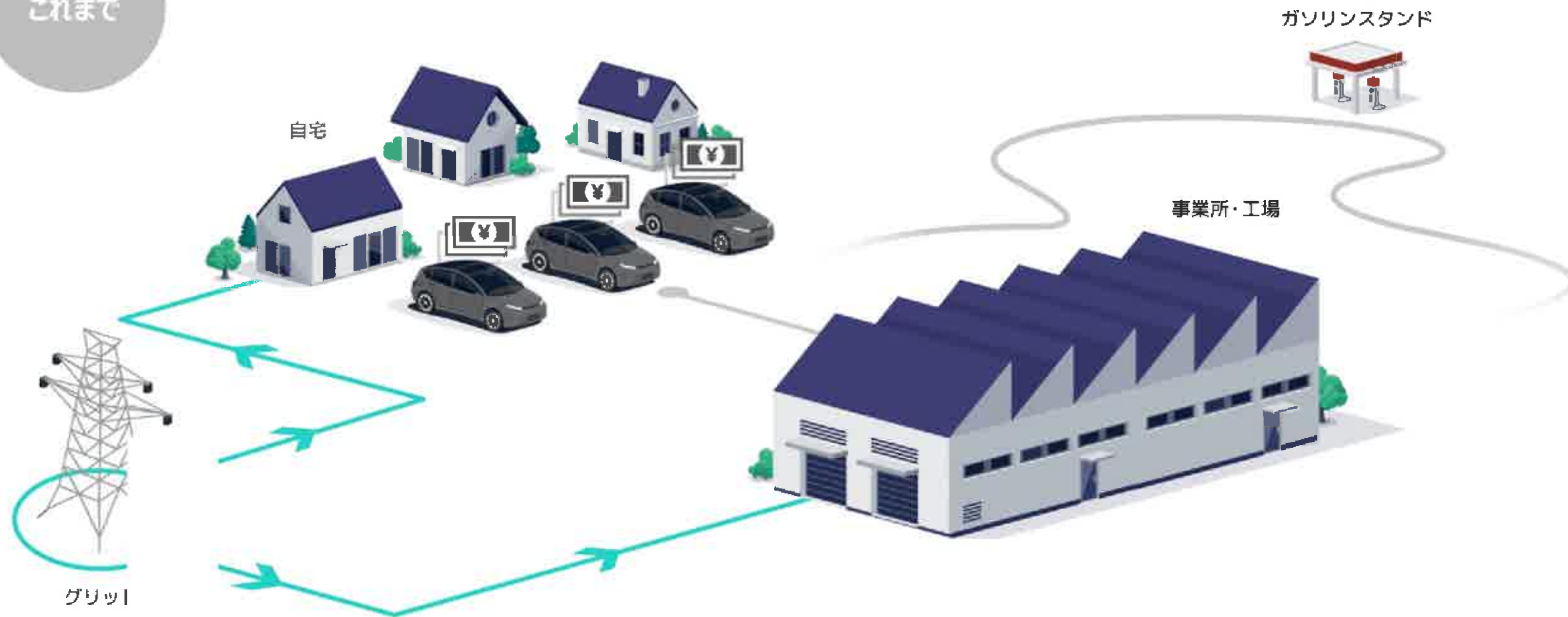
EVを従業員へレンタル提供 + 職場で充電
費用負担は通勤手当をベースに設計



マイカー通勤車のカスタマージャーニー

これまで

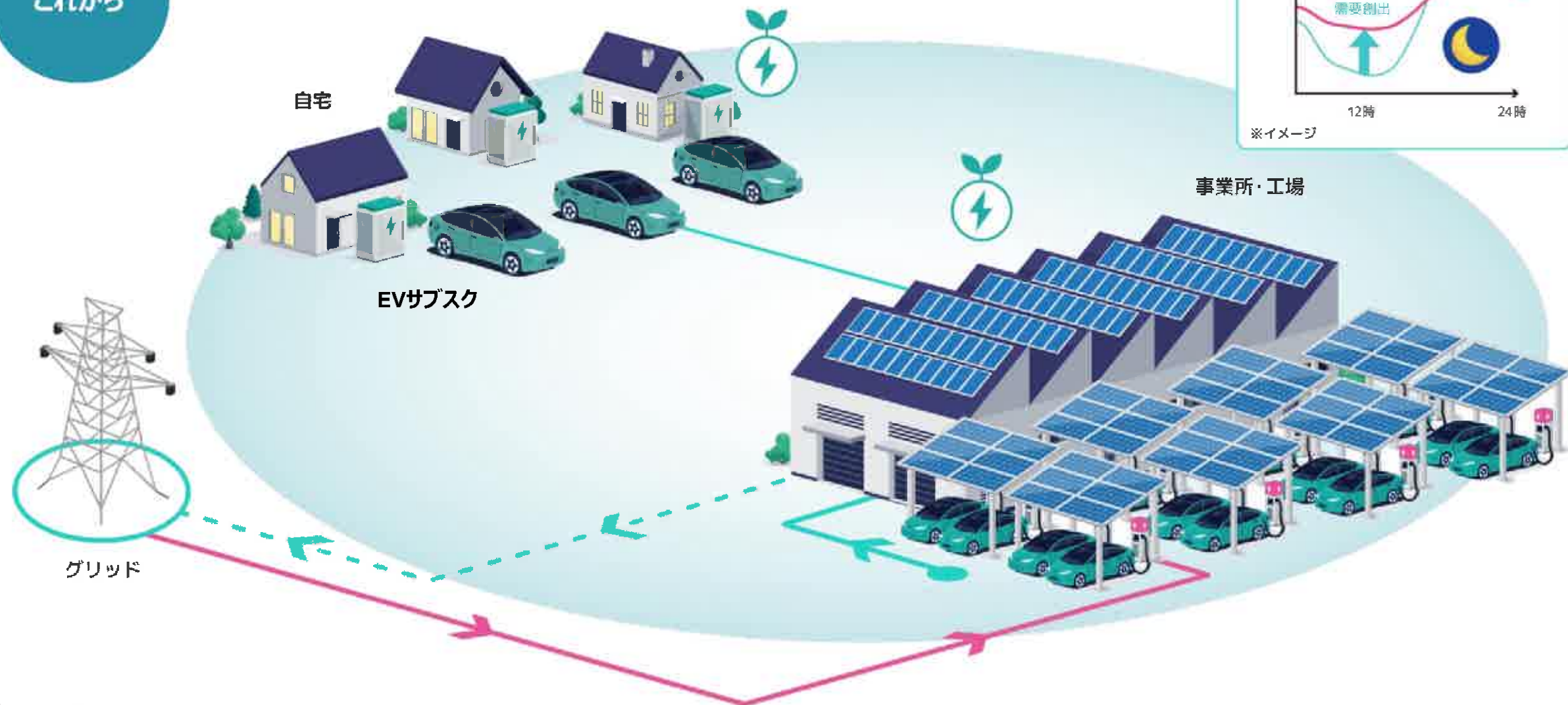
従業員がマイカーを所有しガソリン車で通勤（& 経路給油）



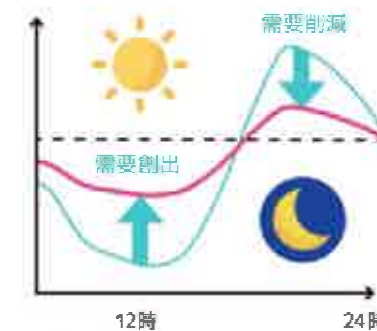
Hakobuneが提供する通勤車ジャーニー

これから

BEVフリートサービス × 再エネワークプレイス充電ング × V2H/G



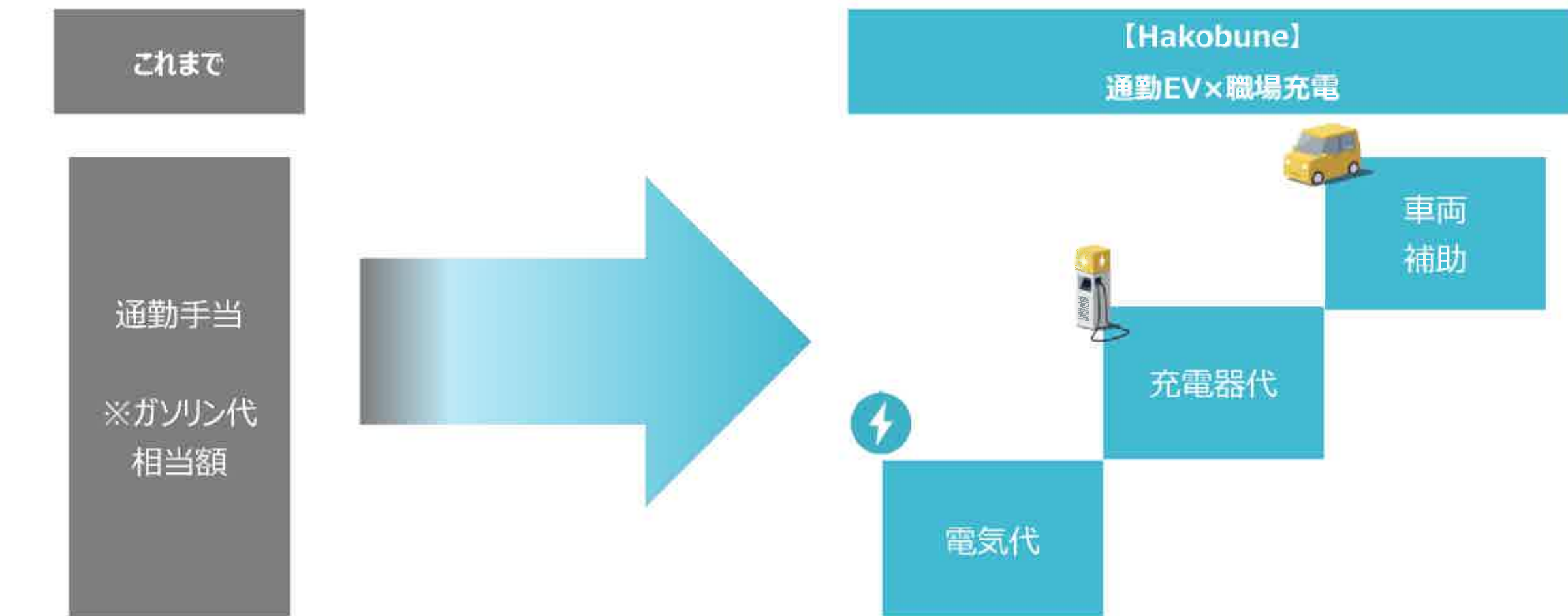
電力のピークシフト



※イメージ



- 御社の通勤実態の把握から、充電設備設置の現地調査、従業員様へのアンケート、運用案や規定の策定など検討フェーズから導入・運用に至るまで一気通貫で伴奏支援をさせていただきます





- EV通勤×職場充電を実現するための、EVを頭金なし（初期費用0円）のサブスクリプション形式でご提供
- EVは通勤用途にくわえて、これまで通りプライベート用途でも利用できます
- またお客様のご要望に応じて業務用途でも活用できるプランもご用意しております



※ご要望により太陽光発電設備PPAもご提供します
※既設のEV充電設備がある場合はEVだけのご契約も可能です
※車両管理は、住友三井オートサービス株式会社にて登録・メンテナンスなどを実施します

- 日本国内でお取り扱い可能なEV・PHEVに対応
- 月額レンタル料金には車両本体価格に加え、保険料や車検・メンテナンス料などコミコミ

※車体は弊社指定色となります。また有償オプションを適用する場合サービス料に追加されます

基本内容・料金

三菱 ekクロスEV



マツダ MX-30



トヨタ プリウス



1. 契約形態 : 長期レンタル契約（わナンバー）
2. 契約期間 : 軽EV 4年 or 8年
その他 6年 or 8年
3. サービス内容 : 登録諸費用/諸税/任意保険/メンテナンス
全てコミコミ
4. 標準装備 : 200V充電ケーブル、ETC車載器、
フロアマット、ドアバイザー、カーナビ、
ドライブレコーダー
5. 有償オプション : 冬タイヤ（ホイール含む）の提供
冬タイヤ（ホイール含む）の交換・保管
自宅充電設備の導入

※有償オプションは社員様に100%でご負担いただきます

付帯する保険・補償内容

対人・対物無制限
人身傷害50百万円
車両（免責5万円 *社員様負担）

中途解約の対応

解約 原因	対応 方針	解約 金額	負担者
会社 都合	会社と適宜対応	社員様 負担なし	会社
社員 都合	① 次ユーザー社員不在 ⇒ 解約	15万円	社員
	② 次ユーザー社員不在 ⇒ 会社が引き取り	15万円	
	③ 次ユーザー社員存在 ⇒ 承継	1万円 *事務手 数料相当	

それぞれに
ベネフィット
を還元する

 Hakobune

企業



脱炭素対応

- GHGプロトコル_SCOPE 3 削減
- 太陽光PPAの場合は、SCOPE 2もカバー



ES向上

- 従業員満足度向上
- 雇用強化の施策に

個人



通勤車の費用圧縮

- 個人購入よりも現物支給のメリットあり
- 職場充電により、自宅充電設備が不要



車両充電費の圧縮

- 自宅 / 社外充電対比で電気代が安い



費用もコミコミ

- 車両にかかわる費用は全てコミコミ

社会



エネルギーインフラ化

個々のEVを束ねると、巨大なエネルギーインフラに。電力事情を劇的に改善。



国全体のCO2削減

電気自動車のメリットを暮らしに広げることで、日本全体のCO2削減にも貢献。



災害対策

EVが家庭用の蓄電池として、災害への大切な備えにもなります。



通勤用
EVフリート



職場充電



V2X

3つのしくみの掛け合わせで

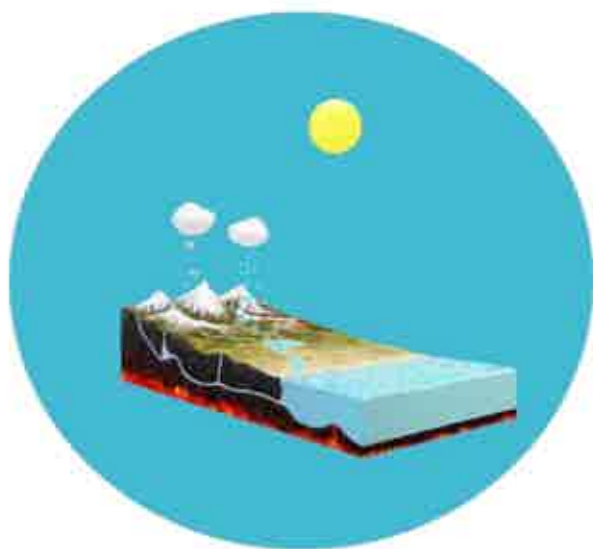


着目した社会のこまりごと

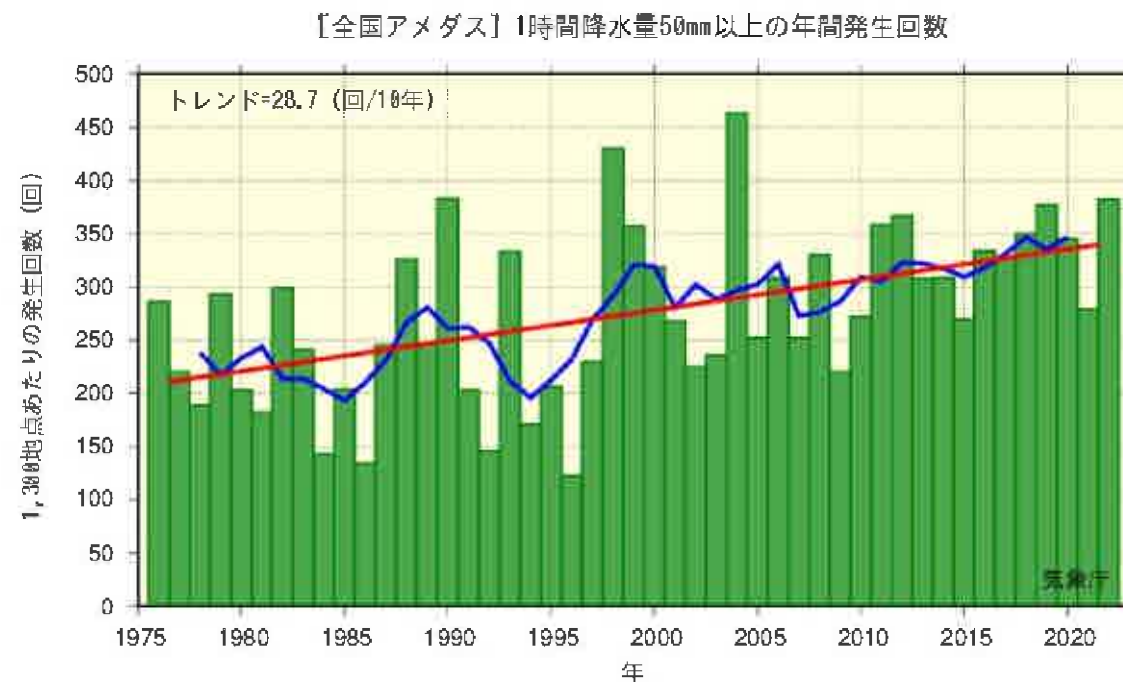




夏の猛暑日はこの数年の比較でも激増
ゲリラ豪雨含めた降水量も長期トレンドでの上昇が続く



年	月	日数	6月～9月の合計
2023年	6月	0	22
	7月	13	
	8月	9	
	9月	//	
2022年	6月	6	16
	7月	4	
	8月	6	
	9月	0	
2021年	6月	0	2
	7月	0	
	8月	2	
	9月	0	
2020年	6月	0	12
	7月	0	
	8月	11	
	9月	1	
2020年～2023年 8月25日までの合計			52





止まらないエネルギーコストの上昇

この1年間で、
家庭の光熱費も企業の光熱費も1.3倍



光熱費が「増加」した企業の割合



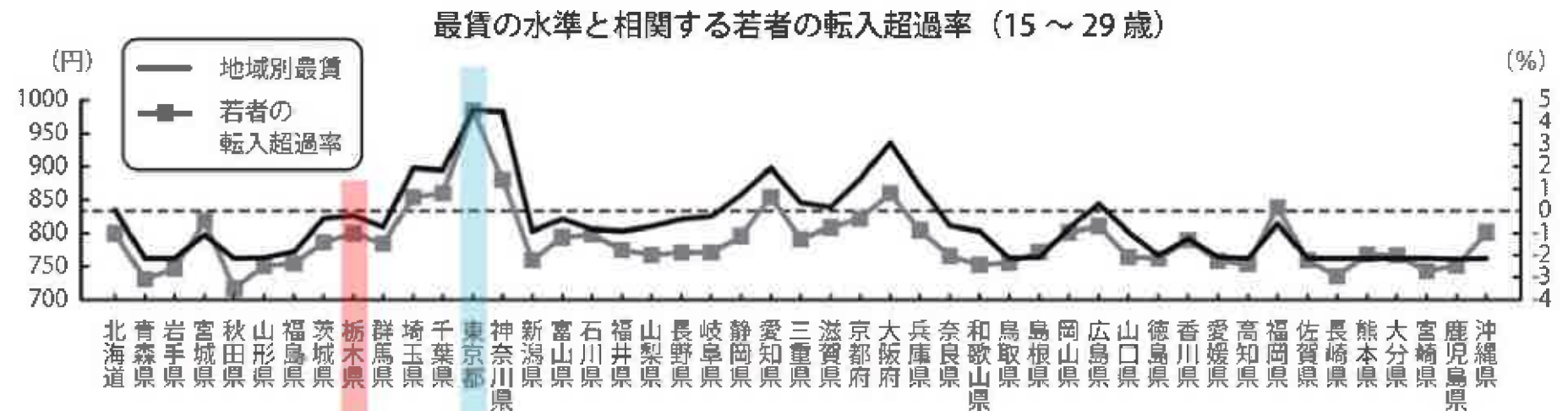
[注] 2023年4月時点で2021→2022年度決算が判明した約3万8000社
平均増加額はトヨタ平均値(上下5%)



止まらない若者の県外流出

県別の格差は最大 8 %

若者の移動による生活圏のばらつき解消 = 地方創生

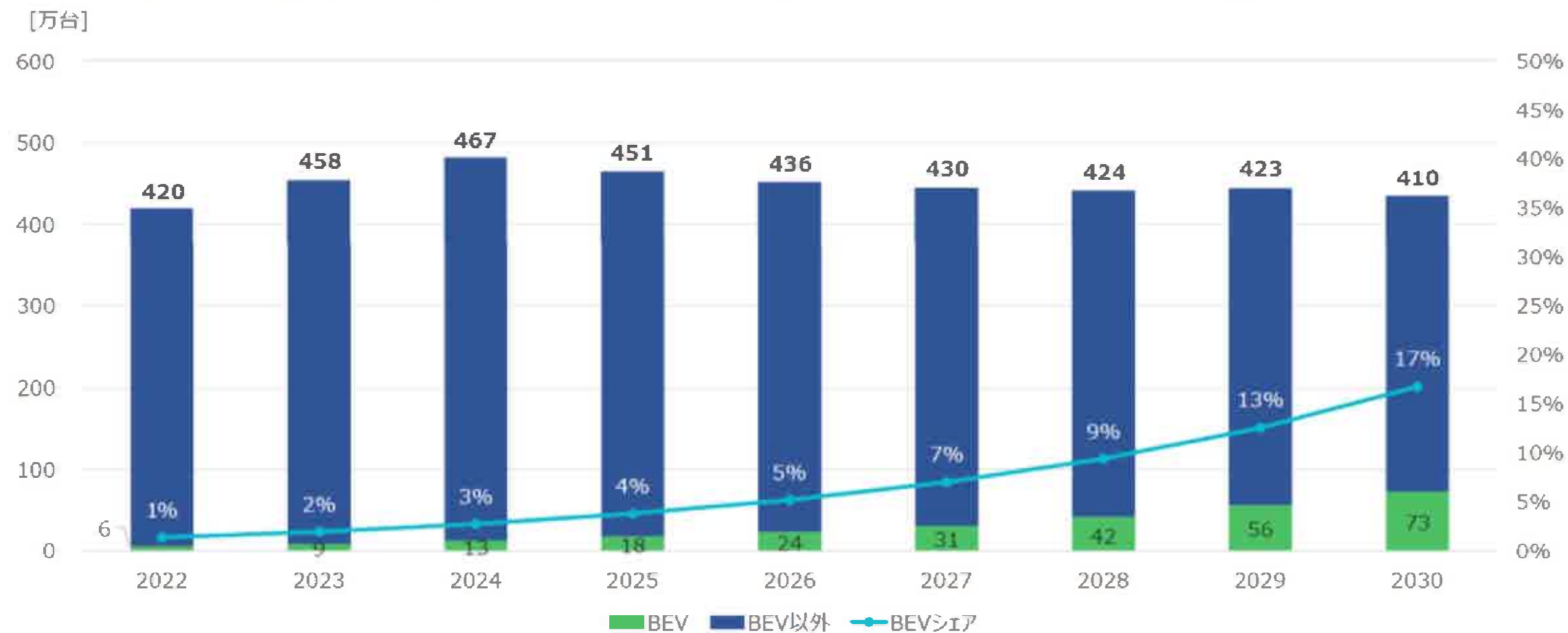


厚生労働省労働基準局賃金課提供データより編集部作成



BEV 日本新車販売: 実績と予測

- 昨年、BEVは日本で約6万台販売された。新車販売全体におけるシェアは1.4%
- 2030年に向け、総市場は縮小する。一方、BEVは成長し、17%を占めるに至ると予想される





BEV 世界新車販売: 実績と予測

- 昨年、BEV世界新車販売は78百万台を記録した。新車販売全体におけるシェアは約1割
- 2030年に向け、シェアは36%に至ると予想される。

[百万台]





通勤用車両のマーケット



人とクルマを笑顔でつなぐ
住友三井オートサービス

Hakobuneの
マーケット

KiNTO



法人用
2,800 万台



通勤用
2,500 万台

平均保有
9年

世帯複数保有
51%

主な車型
軽乗用



平日買い物&家族送迎中心
2,200 万台



休日レジャー用
700万台

国内四輪保有マーケット 8,200万台

法人市場

個人市場

当領域をBEVフリート化

Source) JAMA



EVの活用: GHGプロトコルのScope1,2,3に貢献

- 業類別に差はあるものの、どの業界も”SCOPE3”の削減は脱炭素貢献における大命題
- 通勤用車両はSCOPE3-7にカテゴリーされ、年間1台当たり約0.35トンのCO2を排出（ガソリン車）
- 従業員の通勤車両のEV化は企業と従業員の合意で取り組みを進めやすいカテゴリーである

業類別SCOPE1,2,3の内訳

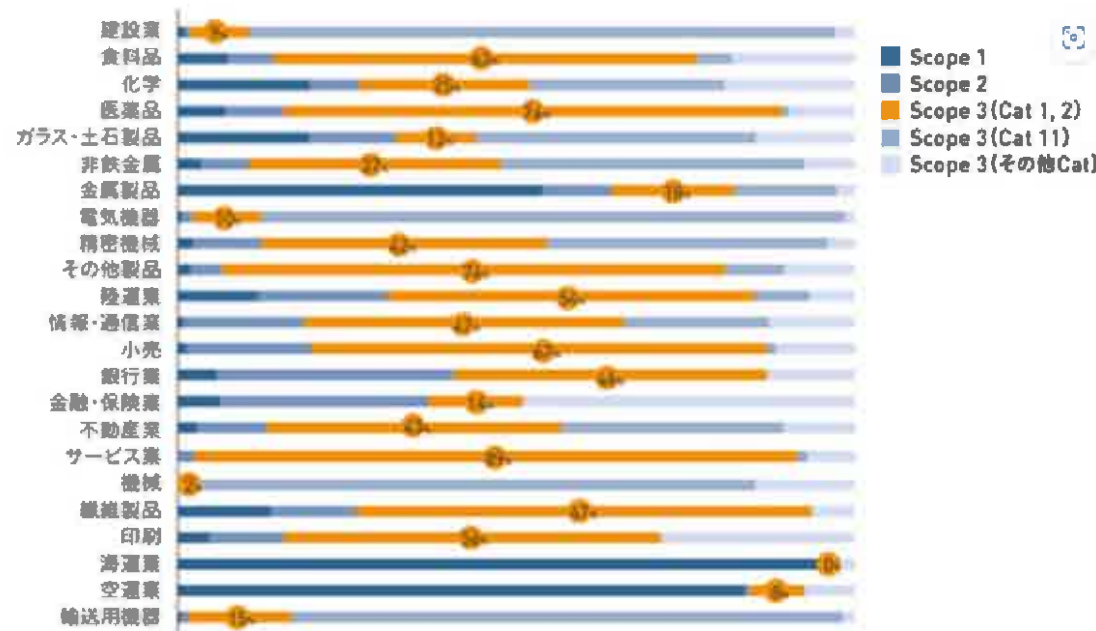


図3：各業種におけるScope3カテゴリ1、2排出量の比率（※4）

SCOPE 3 のカテゴリー

Scope3カテゴリ	該当する活動（例）
1 購入した製品・サービス	主要資材の採石やアスファルト、セメント、生コンクリートなどを対象
2 資本財	年間設備投資金額
3 Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	電力使用量及び地域熱源使用量
4 輸送、配送（上流）	主要資材の購入量から算定
5 事業活動から出る廃棄物	建設廃棄物が対象。ただし、解体工事からの排出はカテゴリ12に計上
6 出張	従業員の出張
7 雇用者の通勤	従業員の通勤
8 リース資産（上流）	自社が賃借しているリース資産の稼働（算定・報告・公表制度では、Scope1,2 に計上するため、該当なしのケースが大半）
9 輸送、配送（下流）	出荷輸送（自社が荷主の輸送以降）、倉庫での保管、小売店での販売
10 販売した製品の加工	事業者による中間製品の加工
11 販売した製品の使用	自社施工した建造物の使用に伴う排出量を算定
12 販売した製品の廃棄	自社施工建造物の廃棄と処理の排出量
13 リース資産（下流）	自社が賃貸事業者として所有し、他者に賃貸しているリース資産の稼働
14 フランチャイズ	自社が主宰するフランチャイズの加盟者のScope1,2 に該当する活動
15 投資	株式投資、債券投資、プロジェクトファイナンスなどの運用

CO2排出
1トン
(台・年)





HakobuneならではのEV活用の利点

EVに関する代表的な懸念点・・・

航続距離

180km以上

(日産サクラ・三菱ekクロスEV)

車種

国内メーカー
軽自動車・乗用車から

お好みの車種

充電インフラ

(8時間と仮定)
就業時間内で**満充電**

休日50km程度の移動 **経路充電不要**

クルマ通勤の実態：弊社定量・定性全国調査 (appendix詳細)

片道通勤距離20km未満
80%超

軽・コンパクト選択される方
約50%

休日移動距離20km未満
約70%



EVで社会還元: EV化によるCO2削減効果

Hakobuneサブスク切替台数

10台



100台

1,000台

2,000台



年間CO2排出削減量

3.5トン



35トン

350トン

700トン



削減CO2量を吸収する木の本数

248本



2,480本

24,800本

49,600本





なぜHakobuneを設立したのか？



EVをきっかけにした「あってよかった」を創りたい



Hakobune

住友商事グループ

通勤用EVで、サステナブルな社会へ。